

平成 29 年度事業計画

はじめに ー臨床検査技師と医療をめぐる情勢ー

政府は健康・医療戦略推進本部令（平成 26 年 6 月 6 日政令第 205 号）に基づき、「ゲノム医療等の実現・発展のための具体的方策」（平成 28 年 10 月 19 日）の意見が取りまとめられ、遺伝子関連検査の品質・精度を確保するためには、法令上の処置を含め具体的な方策等を検討、策定が必要とされ、政府はこれを受けて、医療機関、衛生検査所（ブランチラボを含む）の検体検査について、品質・精度管理に係る基準を定めるための根拠基準を新設するとして「医療法及び臨技法」の一部改正、及び臨技法上の検体検査 6 分類を新たな検査技術に対する精度管理や安全性等について柔軟かつ迅速に対応できることができるよう、検体検査の分類を省令委任とし、分類に遺伝子関連検査を追加するなどの見直しを行うとし「医療法」「臨技法」の一部改正を閣法として提出する準備を進めている。「医学検査」の専門家として、国民に安心安全な質の高い医療を提供するために、品質・精度管理された検査データの基準の根拠規定を定め、広く推し進めることは重要であると認識している。社会的に評価される仕組みと病院から診療所、業務委託を担う衛生検査所まで運用可能なシステムの構築について丁寧な検討が必要であると考え。

平成 29 年度重点事業としては、①当会が実施している精度管理事業、精度施設認証制度などの精度保証事業の再構築を検討し、政府が進める「品質・精度管理に係る基準を定める根拠規定」に対応できる精度保証全般のシステム設計を目指し、精度保証準備室の立ち上げを検討する。②組織強化の一環として、人材育成に主眼を置き、卒後 3 年目（2～5 年）を中心とした、日臨技主催「初級・職能開発講習会（仮称）」を都道府県単位で開催するとともに、地域ニューリーダー育成事業の継続と都道府県技師会への展開を推進する目的で、次世代リーダー育成研修会（都道府県技師会主催）開催に向けた支援をする。また、養成校学生協議会（仮称）の設立を目指して、支部学会における学生主催フォーラムを開催し、職能団体としての今後の課題や方向性について意見交換する場を提供する。以上人材育成事業を連携して企画し、組織力アップを目指す。③日臨技と支部学術組織の再編成として、支部学術部長、各部門長との連携を図り、全国学会、支部学会、支部研修会の企画・運用について検討する。④全国、支部学会における学会運営規程の再構築と各種認定（スキルアップ／指定）研修会の開催に向けた検討。⑤卒後教育の一環として、e-ラーニングを活用した自己学修支援システムの推進を図り、全国共有のコンテンツを展開し、自己キャリアアップを支援する。特に、新人研修に重点を置き、医療人／社会人スキルアップを目指した自己学修支援の充実を図る。

1. 公益目的事業 ー精度保証／精度管理事業／公益事業共通ー

「医学検査」の専門家として、国民に安心安全な質の高い医療を提供するために、品質・精度保証された検査データを確立し、医療機関から診療所、業務委託を担う衛生検査所まで運用可能なシステムの構築、精度保証認証制度の再構築と普及に努め、社会的に評価される仕組みの構築に向けて、臨床検査全般にわたる精度管理、データ標準化、施設認証など一連の事業として位置づけ、精度保証準備室を立ち上げ、再構築する。

【主な事業】

- ア 臨床検査精度管理事業の実施
- イ 基幹施設の精度管理
- ウ 精度保証施設認証の実施と普及（申請システムの新設）
- エ 血液形態・骨髄細胞／凝固検査の標準化：検査血液学会
- オ 穿刺液検査の標準化
- カ 精度管理（是正）サポート事業
- キ 残余検体試料の使用指針策定に向けた検討
- ク 品質・精度管理基準事業（精度保証準備室）
- ケ 生涯教育研修制度（都道府県委託事業）

2. 学術・職能支援事業

1) 学術・技術振興

①先駆的研修会

最新の医学的知識や技術を習得するための研修会を企画し、学会発表などを推奨するとともに会員の学術活動を支援する。

【主な事業】

- ア 第4回遺伝子・染色体研修会
- イ 第3回神経生理研修会
- ウ 血液細胞分類伝達研修会
- エ Structural Heart Disease (SHD) における超音波検査研修会
- オ 肺塞栓症における下肢静脈エコー研修会
- カ 輸血テクニカルセミナー

②職能開発

地域支援型医療に向けた施策が展開される中、他職種連携医療が求められていることを受け、患者に寄り添う医療現場で専門性を生かし活躍できる人材育成に取り組む。

生涯教育研修制度の再構築を継続事業とし、卒前教育、臨床臨地実習を含めて、ステッ

プアップ型の生涯教育を検討する。また、新人教育に重きを置いた医療人、社会人スキルアップを目指した自己学修支援システム（e-ラーニング）の活用を推進する。「検査説明・相談のできる技師育成講習会」の次のステップとして、臨床現場で他職種連携医療の一員として活躍できる人材育成を目指した講習会を新規事業として展開する。

【主な事業】

- ア 医療現場における職能向上のための検査技師育成講習会
- イ 新生涯教育制度支援(e-ラーニング)事業
- ウ 乳房超音波研修会
- エ 医療安全管理者育成講習会
- オ 新生涯教育あり方検討事業
- カ 初級・職能開発講習会

③検体採取等に関する厚生労働省指定講習会

厚生労働省指定講習会を継続事業として展開する。事業として3年目を迎え、臨床検査技師ライセンスの一部業務追加の指定講習会であることから既卒者全員の受講を目指して事業展開する。更に、日常業務への定着を支援するための実践に向けた実技講習会を開催する。

【主な事業】

- ア 厚労省検体採取指定講習会

④国際協力

グローバル化が進む中、諸外国との学術を通じて友好関係を推進する。また国際協力による発展途上国への支援の方策を探るとともに、グローバルな視野で活躍できる人材の育成にむけた取組み。

【主な事業】

- ア 日韓交流継続、発表者支援
- イ 台湾技師会学術交流
- ウ IFBLS・AAMLS への役員派遣
- エ 海外短期留学制度創設支援
- オ 発展途上国への技術支援の調査

⑤会誌発行

学術誌としての「医学検査」の充実を図るとともに、標準的な知識や技術を網羅した出版物を発刊する。

【主な事業】

- ア 「医学検査」の充実

⑥国民医療向上／安全対策

臨床検査に関する正しい知識の普及、啓発を図るとともに、臨床検査技師の地位ならびに職業意識の向上を目的として、国民向けの広報の充実と情報発信に努める。

【主な事業】

- ア 季刊誌ピペット
- イ 全国「検査と健康展」開催

⑦就労支援

就労支援については、都道府県技師会との連携やホームページの活用を含め対応を検討する。

【主な事業】

- ア 就労支援対応

2) 学会運営

会員の学術活動、人材育成などの研究成果を発表し、情報共有とネットワーク構築の場としての充実を図る。学会運営規程の再構築、学会のあり方（全国、支部学会）について検討する。

【主な事業】

- ア 第66回学会
- イ 第67回学会
- ウ 第68回学会

3) 支部運営

日臨技と支部学術組織の再編成として、支部学術部長、各部門長との連携を図り、全国学会、支部学会、支部研修会の企画・運用について検討する。また支部幹事会を通して日臨技事業の推進を図る。都道府県技師会との連携強化に向けた取組み。

【主な事業】

- ア 支部事業_伝達講習会
- イ 支部学会
- ウ 支部研修会
- エ 支部共通
- オ 支部の運営
- カ 支部内学術組織の運営
- キ 支部学会学生ガイダンス

4) 認定

各認定制度を継続するとともに、認定取得者の増加をめざしeラーニングによる各認定受験カリキュラム内容のコンテンツ化を進め、自己学修支援環境を整える。指定講習会受講環境を整える目的で、全国・支部学会での開催（スキルアップ研修会）に向けて検討する。

【主な事業】

- ア 各種認定技師制度の運用
- イ 認定監理検査技師制度の新設（認定管理検査技師制度を踏まえて）
- ウ 各種認定取得に向けた学修コンテンツ（eラーニング）の作成
- エ 認定受験・更新申請の簡素化（申請書類のシステム化）

5) 出版

JAMT 技術教本シリーズの発刊

【主な事業】

- ア JAMT 技術教本シリーズの発刊

2. 渉外・組織強化事業

1) 渉外

「臨床検査室における品質・精度の確保」に係る医療法、臨技法の一部改正に向けた検討及び改正内容の会員への啓発と普及に向けた取組み。

外来、病棟において臨床検査技師の専門性を生かして活躍できる人材育成に取り組み。大規模災害時における体制の整備と被災地、被災者への支援活動について検討する。認知症対策への参画の重要性を広く啓発するとともに、認知症の早期発見・早期治療に貢献できる臨床検査技師の育成に取り組む。

耳鼻咽喉科学会など、他団体、関連学会と連携して業務認証に取り組む。

【主な事業】

- ア 法改正折衝
- イ 医療政策検討
- ウ 平成30年改定基礎調査・研究
- エ チーム医療推進事業
- オ 病棟業務推進施設連絡協議会
- カ 臨床検査技師の在り方啓発事業
- キ 在宅業務調査事業
- ク 災害発生時の体制づくり検討
- ケ 事故予防対策WG

- コ CRC、臨床研究分野の取り組み
- サ 認知症対応力向上（神経心理検査）
- シ 定点解析・会員実態調査解析事業
- ス 病棟業務実践研修会
- セ 認知症WG

2) 組織強化

①組織対策

組織強化の一環として、次世代の人材育成を目指して支部学会における学生フォーラムの開催、卒後3年目（2～5年）を中心とした日臨技主催「初級・職能開発講習会（仮称）」を都道府県単位で開催し組織強化に取り組む。支部学会における中高校生向け進路支援ガイダンスの実施により、優秀な人材確保と入会促進に取り組む。

【主な事業】

- ア 定款諸規程検討・都道府県連携
- イ 中高生向け進学支援
- ウ 学会学生「学生フォーラム」
- エ 組織強化WG
- オ 地域ニューリーダー育成
- カ 賠償責任保険
- キ 各種広報ツール制作

②組織運営

日臨技及び支部、都道府県技師会との連携を強化し、日臨技事業の更なる推進を図る。会員確保対策として、臨床検査技師ならび技師会活動の周知を行い、優秀な人材確保と入会促進を図る。

各事案に対し、迅速かつ的確に対応するため部会、ワーキング会議制を継承し、事業運営上の課題、他団体への対応、会員から提起させる問題や改善要求などを検討し、懸案事項について効率的な解決を目指す。

【主な事業】

- ア 組織の運営
- イ 倫理規程の強化・会員倫理周知徹底
- ウ 65周年事業
- エ 表彰事業
- オ 賀詞交換会
- カ HPリニューアル
- キ 会員・施設調査システム

- ク 情報発信システム運用
- ケ 賛助会員管理システム
- コ 日臨技スマホアプリ
- サ 総会

③事務管理

事務局機能の安定化と効率化を図る。健全な事業運営に向けて、事業調書ごとの執行状況を四半期単位で管理し、執行理事と事務局担当者との連携を強化し適正な予算執行に努める。

【主な事業】

- ア 事務局体制 事務員の戦力化

④会員管理

他職種連携、チーム医療推進の観点から多角的に連携し、他団体が運営する臨床検査技師が取得可能な各種認定に対する自己学習支援による再入会の促進、養成校学生に対する取り組みを強化し会員確保に取り組む。

【主な事業】

- ア 会員数計画、会費収益増収

⑤共済

会員への相互扶助の仕組みとして運用する。

【主な事業】

- ア 共済制度による相互扶助

⑥会館

- ア 浸水災害対策

以上